

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	5	学校名	仙台市立東六番丁小学校	校長名	鳩原 淳子
------	---	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

人にも自然にもやさしい環境づくりへの取組



2 取組の紹介

●資源を大切に取る取組

本校では、教室に「プラごみ」「もえるごみ」の2種類のゴミ箱を設置しており、日頃からゴミを分別するよう指導しています。児童は教室内のゴミや給食のストロー袋などをきちんと分別し、限りある資源を大切にすることを意識して生活しています。また、捨てる際にも袋の空気を抜いてしぼるなど、ゴミ袋の容積が少しでも小さくなるよう工夫して捨てるようにしています。分別を日常化したことで、資源を大切にしようとする気持ちが育ってきました。



●節水・節電

トイレや手洗い場では水を大切に使うこと、また教室を空けるときやトイレを使った後などは電気をこまめに消すことを呼びかけています。各学級で「電気係」などを作り、教室移動の時などにも電気を消す習慣が身に付いてきています。



●児童会まつりのゴミ減量

今年度は4年ぶりに児童会まつりが開催されました。児童会まつりでは4～6年生が全校児童に楽しんでもらえるような店を考えました。その際、児童会まつりの運営を担う代表委員会が、ごみを少なくするためのルールを設定し、エコな祭りになるよう紙面での呼びかけや放送による声かけを行いました。児童会まつり終了後も、段ボールからガムテープを外して段ボール置き場に戻すように声かけをし、そのまま資源回収に出せるように気を付けて片付けを行いました。

●給食週間を通して

1月22日～26日は給食週間でした。いつもおいしい給食をいただけることに感謝したり、給食の作り方や材料に関心を持ったりすることをねらいとしています。4年生は、給食をいただけることに感謝し、残さず食べることを呼びかけるポスターを作成しました。給食時間の教室では、残食を減らせるよう、苦手な食べ物にも挑戦している子供たちの姿が見られました。また、県内の食材や旬の食材が使われている献立もあり、食への関心も高まっています。



3 取組の成果 (児童の変容)

資源を大切にしたり、エネルギーを節約したりする取組を学校生活全体を通じて継続してきたことで、児童のエコに対する意識が高まっています。また、資源を節約しながら楽しい児童会まつりを行えたことで、自然も人も大切にするという気持ちが育ちました。今後もSDGsについて自分たちの問題として考え、学校や家庭でできる小さな取組を実践できるようにしていきます。